

芸術工学部・学府 留学報告書（2025－2026）

留 学 先	1. 国（地域）名： イタリア
	2. 機 関 名： ミラノ工科大学 Politecnico di Milano
	3. プログラム（コース）名： インテリアデザインコース
留学期間	2025年 9月 ～ 2026年 2月 （合計 6 か月間）
帰国日	2026 年 3 月 2 日
留学費用	1. 留学にかかった総費用：約（ ） 円 2. 留学費用を負担した機関等を選んでください。（複数選択可） ☐ 受入機関 ☒ 九大 ☒ JASSO ☐ 奨学財団 ☐ 私費 ☐ その他 （ ） 3. 上記私費以外を選択した場合、助成、奨学金等の名称： （ ） 月額：約（ ） 円
語学力	1. どのような準備をしましたか。 イタリア語試験（CILS）A2レベルの受験。（大学2年秋） 2. 出発時点の T O E F L 等の公的試験の最終得点は、何点でしたか。 試験の名称：（ ） スコア：（ ） 点

事前手続き（ビザ申請など）

ビザ	1. ビザの申請時期は？ ☒ 出発前 ☐ 入国時 その他（ ） 2. 取得したビザの種類はなんですか？ （ イタリア共和国ビザ ） 3. ビザの申請先はどこでしたか？ （ 大阪の在日本イタリア総領事館 ） 4. ビザ取得までの所要日数は？ （ 約3ヶ月、もしくはもっと） 5. 申請に必要な書類を教えてください。 6. 手続き方法 ☒ オンライン申請 ☒ 窓口申請 ☒ 郵送申請 ☐ 代行申請 ・手続きするにあたり注意すべき点、困ったこと等があれば教えてください。 本当に時間と手間がかかります。とにかく早く、余裕を持って着手すること。連絡を怠らないこと。決して諦めないこと。
その他の事前準備	その他、済ませておきべき準備があれば記入してください。（現地での現金調達準備、携帯電話購入、荷物運送など）住居の手配。ミラノ工科大学は寮への入居が難しいため、自分で住居を探す必要がある。可能であれば、ゴールデンウィーク頃から探し始めた方がいい。ビザ申請にも必要。私は2回キャンセルされ、住居が決まっていない状態で渡航し、現地で探しました。

留学時に関する質問

履修登録・単位認定	1. 出発前に履修登録はできましたか。(☒ はい ☐ いいえ)		
	2. 到着後の履修科目の変更・追加はできましたか。 (☒ はい ☐ いいえ) 「はい」の場合、どのような方法で変更・追加しましたか。 ☐ 窓口 ☐ 電話 ☐ オンライン ☐ メール ☐ その他： ())		
	3. 一学期あたりの履修科目・単位数は： (3) 科目 () 単位 (☒ 多すぎた ☐ ちょうど良かった ☐ 少なかった)		
	4. 履修登録に関するカウンセリング等がありましたか。 (☐ はい ☒ いいえ) 「はい」の場合、具体的にどのようなものでしたか。		
	5. 留学先での単位認定はありましたか。(☒ はい ☐ いいえ) 「はい」の場合、認定された科目・単位数： () 科目 () 単位		
授業内容	1. あなたが履修した科目の概要・内容などを具体的に教えてください。 (授業科目名) (週当たり時間数)(取得単位数)		
	Landscape and Space Design(院)	全日	
	History of Design and Architecture (イタリア語開講)	半日	
	Retail Design (イタリア語開講)	半日	
	・語学面の習得に努力した点や、専門分野での進歩につながる点などを記述してください。 日本にいる頃からイタリア語の勉強を続けていました。授業のレベルにはついていけませんでした。少しでもできると現地の人たちに喜んでもらえるので、ある程度会話ができるようになっておくことをお勧めします。 授業には、実際に社会に出て活躍されているデザイナーや会社の方など、さまざまな出会いと機会が用意されていました。専門用語が多くなってくるので、自身の専攻についての単語や表現に親しんでおく、より多くの学びを得られると思います。		
	2. 学年暦（学期・休暇）と現地での授業スタイル、予習・復習、試験等の準備について具体的に教えてください。		
	①学年暦：授業開始/終了日を教えてください。 ☐ Semester I (9/15 - 12/23) II (-) ☐ Quarter I (-) II (-) III (-) IV (-)		
②授業スタイルはどのようなものでしたか？ ☒ 講義 ☒ 演習 ☐ その他 (両方)) 1 クラス人数 (30-40) 人 気づいたこと：遅れてくる学生が多い。デザインの内容、コンセプトやアイデアよりも、実現可能性や見目の良さの方を重視している印象があった。実際に働いているデザイナーや会社とのつながりが強い。			
③予習・復習について：語学が主。Landscape の授業に関しては、設計課題だったため、毎週非常に多くの作業に取り組みながら、グループでの議論や共同作業を行った。			

	④試験：landscape、Retail Designは作品の発表。History of Design and Architectureは筆記と口頭試験。テストは、時間や場所が指定されていても予告なく変更があったりする。受講生の中に友達を作っておくと。
学内施設・環境等	1. International Office のサポート体制 ☐ 利用しやすい ☐ 普通 ☐ 利用しにくい ☒ 利用しなかった 具体的に： 2. 留学先大学の教員のサポートについて（コミュニケーションはうまくとれていましたか？） 具体的に：留学生向けの学生団体があり、旅行やイベントなどで利用した。 3. 各学内施設の使いやすさについて記入してください。また、利用可能時間や具体的な利用手続き方法をそれぞれ記入してください。 ① 工房 ☐ 利用しやすい ☐ 普通 ☐ 利用しにくい ☒ 利用しなかった 利用時間や手続き方法： ② プロジェクトルーム、研究室などの作業スペース ☐ 利用しやすい ☒ 普通 ☐ 利用しにくい ☐ 利用しなかった 利用時間や手続き方法： ③ 図書館 ☐ 利用しやすい ☒ 普通 ☐ 利用しにくい ☐ 利用しなかった 利用時間や手続き方法： ④ 運動施設 ☐ 利用しやすい ☐ 普通 ☐ 利用しにくい ☒ 利用しなかった 利用時間や手続き方法： ⑤ 学生食堂 ☒ 利用しやすい ☐ 普通 ☐ 利用しにくい ☐ 利用しなかった 利用時間や手続き方法： ⑥ クリニック/ヘルスセンター ☐ 利用しやすい ☐ 普通 ☐ 利用しにくい ☒ 利用しなかった 利用時間や手続き方法： ⑦ 学内通信環境 ☒ 利用しやすい ☐ 普通 ☐ 利用しにくい 利用時間や手続き方法： 4. 大学内は安全でしたか。 ☐ 九大より安全 ☐ 九大と変わらない ☒ あまり安全ではない) ・あまり安全ではないと感じた点は、どんなところですか 置き引きの被害が発生することがあるため、荷物は常に携帯する。 ・学内で安全について特に気をつけていたことはありますか。 学内ではないが、昨年最寄駅で事件が発生したと聞いたため、周囲の状況に気をつける。
交通事情と留意点	1. 通学などに関する交通事情や留意点について記入してください。 電車やバスの遅れ、ストライキは日常的に発生する。ミラノ交通局のアプリを利用するほか、友人と情報共有し、最新の運航情報を確認する。車内ではスリ被害に注意する。
医療事情	1. 渡航先の医療保険には加入しましたか (☐ した ☒ しなかった ☐ 強制加入) 保険料：約 () 円 ・留学先の医療情報：

居住環境	☐ 寮：（ ） 人部屋（1 日 食付） ☒ ホームステイ ☐ 民間アパート ☐ その他（ ） ・住居はどのようにして探しましたか。 寮以外の住居を探した場合、どのような方法で探しましたか？利用したインターネットサイトなど詳しく教えてください。また、いつ住居が決まりましたか？（例：渡航1ヶ月前 渡航後1週間後 etc） 私は予定していた家が2回キャンセルされ、Facebookで知り合ったホストファミリーの家にお世話になった。シングルルームで、キッチン、バストイレ、洗濯はルームメイト&ホストファミリーと共用。3匹猫もいた。ホストファミリーはとてもいい人たちだったが、超郊外で最寄駅まで5km、土日は駅に行くバスが運行していないようなところだった。できれば大学から近いところか、市内をお勧めします。大学までは片道1時間で、状況によっては2時間。家があまりにも居心地が良かったため耐えられたが、やはりミラノ市内へのアクセスはよくなかった。もし、ミラノ工科大学に留学を希望する学生がいたら、このホストファミリーの紹介が可能です。
生活費（月額）	生活費計（ 約9万 ）円/月 （生活費の内訳/月平均） 住居費：約（ 90000 ）円、光熱水料：約（ 込み ）円 食 費：約（ 20000-30000 ）円（外食の目安は 2000 円/回） 通信費：約（ 約1250 ）円（現地および日本の携帯電話、インターネット） 交通費：約（ 30000 ）円/半年定期、 その他（具体的に 旅行 ）：約（ ）円 学費・寮費以外に大学へ納入するもの（あれば）（ ）円/月 （徴収された費用の名目を具体的に： ）
日本から持参した方がよいもの（PCや変圧器の要不要も）	日本食、ホストファミリーへのお土産（着物を持って行って着付け体験をした時はとても喜ばれた）、常備薬。
お金の管理や受け取りについて	1.銀行口座は開設しましたか ☒ はい ☐ いいえ) ・差し支えなければ、開設した銀行名を教えてください。（ WISE ） ・どのような手続きが必要でしたか？：ネットでの手続き 2.その他、現地でのお金の管理や受け取り方法について、良い方法があれば教えてください。 一人でATMに行くのは危ないとのこと、家賃支払いの時はホストマザーが必ず付き添ってくれた。性別に関わらず、ATM利用の際は周囲に気を配ること。
治安状況（学外）	渡航先の治安は （ ☐ 日本より良い ☐ 日本と変わらない ☐ 日本より悪い ☒ 日本よりかなり悪い） ・特に近づかない方がよいと感じた地区や場所がありましたか。 夜間の公園や駅前広場では、不審な人物が滞在している。後をつけられたり、地下鉄の改札付近で待ち伏せされる場合もある。また、大学周辺においても治安に不安を感じるため、夜遅くまで滞在しないこと。
インターンシップ	インターンシップに関する情報はありましたか （ ☐ はい ☐ いいえ ☒ わからない ） ・具体的な情報があれば教えてください。

留学の感想

1. なぜこの留学先大学を選びましたか？ (日英併記)

世界的に著名なデザイナーを多く輩出した大学であり、芸術の国であるイタリアで学んでみたかったため。また、大規模イベントと都市の関係に興味があったので、ミラノコルティナ冬季オリンピックを間近で観察し、実際に関わってみたかったため。

I wanted to study in Italy, a country renowned for art and design, at a university that has produced many internationally acclaimed designers. In addition, I have a strong interest in the relationship between large-scale events and cities, so I wanted to observe the Milano Cortina Winter Olympics up close and, if possible, become involved in them firsthand.

2. あなたが感じた留学先大学の魅力を教えてください。 (日英併記)

展示が積極的にされている。学生も国際色豊かで、大学院は英語で開講されているためさらにその傾向が強い。学生のレベルが非常に高く、特に印刷物の向き合い方、美しさがプロ並みだった。

また、現地へ赴く授業が多いように思う。私が受講したワークショップでは、バスでアルプス山間の街へ行き、その土地の文化や食、建築を直に見ることができた。

Exhibitions are actively organized, and the student body is highly international. Since many graduate programs are conducted in English, this international atmosphere is even more pronounced at the graduate level. The overall skill level of the students is extremely high, and in particular, their approach to printed materials and sense of visual beauty felt truly professional.

In addition, many classes seemed to involve visiting locations in person. In one workshop I attended, we traveled by bus to a town in the Alps, where we were able to directly experience the local culture, food, and architecture.

3. 留学中、どのような困難に直面しましたか？ またそれをどのように克服しましたか？ (日英併記)

毎日困難だらけでした。でもそんな色とりどりの日常でたくましくなりました

あるグループワークの授業では、自身のデザイン技術不足、語学力不足で、チームメイトに多大な迷惑をかけました。その都度なんとか技術習得を試みましたが、チーム内の溝は深まっていき、最終的には私はそのチームを抜けることになりました。この経験から私は、「自分を表現するツール（武器）を身につけておくこと」「基本のデジタルツールのスキルを身につけておくこと」「語学力をつけること」「チームメイトと授業外でも遊びに行き友達になること」「ミーティングは絶対に休まないこと」などの、グループワーク継続のコツを知りました。

それ以来グループワークに苦手意識があったのですが、このままでは日本に帰れないと思い、学期末にあるワークショップに参加し、再びグループワークにチャレンジしました。前回の反省を活かして、お互いに意見を聞き合い、衝突することもあったけれどしっかりと前に進み、良い形でプロジェクトを成功させることができました。

かなり辛く重い経験をしましたが、正直こんな貴重な経験ができて本当に良かったです。自身の現在位置をはっきり証明され、「モノを作りたい」という情熱に火が付きしました。失敗を恐れず、しっかりと現状を分析して次に繋げることができれば、全てのことに意味を見出せると思います。

Every day was filled with challenges. But within that colorful and unpredictable daily life, I became stronger and more resilient.

In one group-work class, my lack of design skills and language ability caused significant trouble for my teammates. Each time, I tried desperately to improve my skills, but the gap between me and the team only grew wider, and eventually I had to leave the group. From this experience, I learned several important lessons for successful teamwork: to equip myself with tools and skills to express my ideas, to master basic digital tools, to improve my language ability, to spend time with teammates outside of class and build friendships, and to never miss meetings.

After that experience, I developed a fear of group work. However, I felt that I could not return to Japan while avoiding this challenge, so at the end of the semester I joined a workshop and decided to try group work again. This time, I applied what I had learned from my previous mistakes. We listened carefully to each other's opinions, and although conflicts arose at times, we continued moving forward together and successfully completed the project in a positive way.

It was an extremely painful and difficult experience, but honestly, I am truly grateful that I went through it. It clearly showed me where I stood and reignited my passion for creating things. I believe that if we are not afraid of failure, and if we carefully analyze our current situation and use it to move forward, then every experience can hold meaning.

4. 留学で得た成果や今後の課題について教えてください。(日英併記)

主体的に動く姿勢。そして、語学（語彙）。

言語や文化の壁がある中、人脈や学ぶチャンスを得るには、自分で動いて掘むことがとても大事。海外では、言葉が通じなくても積極的に学びにいく姿勢を大事にし、より多くの経験を得るべきだと思う。日本に帰ってきたら、言葉が通じる分、より多く動いてより多くの人と話し、より深く考えるべき。

The most important things are taking initiative and improving language skills, especially vocabulary.

When facing barriers of language and culture, it is essential to actively create opportunities for yourself in order to build connections and gain learning experiences. While abroad, I believe it is important to maintain a proactive attitude toward learning, even when communication is difficult, and to seek out as many experiences as possible. After returning to Japan, since communication becomes much easier, I think it is even more important to take action, talk with more people, and think more deeply about what we learn and experience.

